

桜十字八代リハビリテーション病院

<2部>

リハビリ × チーム医療で実現する さくりハの好循環！



所在地: 熊本県八代市
病床数: 199床

回復期病棟: 140床
障害者施設等一般病棟: 59床

2025年9月取材※肩書等は取材當時



地域で「選ばれる病院」を実現する 外来リハビリの好循環



1日120名が来院。 リハビリが病院選びの「決定打」に。

1日120名

最多来院患者さま数(開業当初の約3倍)

約8割

患者さまの来院目的が外来リハビリ

2~3%

徹底した予約管理によるキャンセル率

さくらひの地域からの信頼を象徴するのが
「外来リハビリテーション」の活況です。

成功の好循環：スポーツ整形に精通した
医師の招聘により、部活動に励む高校生
などの利用が急増。若年層は比較的短期
間で治療を終えるため、常に新規患者さま
を受け入れられるサイクルが生まれてい
ます。

徹底した効率化：近隣に競合が少ない状
況下で、質の高いサービスを持続可能に。
予約カード配布等の工夫により、キャン
セル率を低く抑制しています。





チーム医療の進化形 「シン・Careプロジェクトチーム」



チーム医療の進化形「シン・Careプロジェクトチーム」。

- **背景**：八代地域では心臓リハビリを専門的に実施できる医療機関が限られており、急性期病院からの重要な受け皿となっています。
- **進化**：2024年度、従来のリハビリ科内のチームを発展させ、多職種が参画する「シン・Careプロジェクトチーム」を発足させました。
- **活動内容**：運動療法だけでなく、食事（減塩指導）や服薬管理まで含めた包括的なアプローチを実現。定期的な「循環器カンファレンス」で情報を共有し、治療方針を検討します。
- **成果**：高度なチーム医療の現場として、他の医療機関からの見学希望が相次ぐモデルケースとなっています。





地域とのつながりを再認識！

健康講座「SAKURA UP」



災害支援から生まれた絆。 地域と共に育つ健康講座「SAKURA UP」。

- ・**原点** 過去の大雨災害時に行った「復興リハ」が活動の原点。
現場で地域住民と直接触れ合い、「貢献する喜び」を肌で感じた
体験から生まれました。
- ・**発展** 当初はリハビリ部主導でしたが、「病院全体で取り組もう」とい
う機運が高まり、全部署が協力するプロジェクトへと発展。
- ・**内容** 3ヶ月に1回、フレイルや骨粗鬆症などをテーマに、講座、検査、
予防体操を実施。医師や栄養士も講師として登壇します。
- ・**効果** 地域の健康増進に加え、スタッフ自身が「病院の外」を知り、
地域との繋がりを再認識する貴重な成長の機会となっています。



復興リハ



病院全体の取り組みへ



SAKURA UP





草野リハビリ部 科長 (PT)

「SAKURA UP」：病院とマチをつなぐ健康づくり

「退院後、どうやって健康を維持したらいいの？」という患者さまの声や、災害支援の経験から生まれた「SAKURA UP」この活動は、地域の方々に健康を届けるため、リハビリスタッフを中心に始まりました。今では病院全体で3ヶ月に1回、健康講座を開催しています。今後は高齢者だけでなく、子どもたちや、腰痛に悩む現役世代にも対象を広げていく予定です。

この病院外での活動は、『ヒトとマチを元気に』という病院の理念を体現するものです。そして、参加するスタッフにとっても大きな成長の機会となっています。「やりたい」と思ったことを実現できるサクリハの風土を活かし、私たちはこれからも地域への貢献に挑戦し続けます。



堺リハビリ部 部長 (PT)

地域を支えるリハビリの「プロフェッショナル集団」へ

さくりハが最も大切にしているのは、地域における回復期リハビリの「受け皿」としての責任を果たすことです。地域からの高い評価と多くの患者さまに支えられ、分野ごとの専門チーム制を導入し、質の高いリハビリを提供できるスペシャリストの育成に力を入れています。また、「カフェタイム」や「高校生の職業体験」といったユニークな取り組みを通じて、未来を見据えた“人財育成”にも積極的に取り組んでいます。

今後は、医療保険でリハビリを受けられなくなった「リハビリ難民」の方々を対象に、自費リハのような新しいフォローアップ事業の立ち上げを検討中です。「どうせやるなら楽しく」をモットーに、これからも地域のリハビリをリードし続けます。

写真で紹介

マチと病院の境界が混ざり合うさくりハ

「高校生向け職業体験会」:長期的な人材確保に向けた挑戦



職業体験会の様子



院内でラジオ番組の公開収録！職員や患者さまも出演



サクリハ1Fの『畳ラウンジ』では、「エフエムやつしろ」のラジオ番組「ワイワイ編集局」の公開収録が行われています。そのうち、5分間を桜十字オリジナル番組『聴くくすり』として、絶賛、放送中。職員や患者さまが出演しています。

シェアラウンジ



レターブースやライブラリがあり、入院患者さまだけではなく、お見舞いに来られたご家族や地域の方たちもくつろいでいます。

フィルカフェ ヤツシロ



フィル=フランス語で糸のこと。「病院とマチをつなぐ」を象徴するスペースになっています。

職員の「誇り」が「選ばれる病院」をつくる。 ハッピースpiralへの挑戦は続く。

さくりはの挑戦は、組織の健やかさが、地域からの信頼を築くことを証明しました。

この好循環をさらに加速させるため、新たな制度を計画しています。

- ・永年勤続表彰
- ・貢献社員制度
- ・業務改善提案制度(院長賞)



職員一人ひとりが誇りを持って働く病院づくりが、患者さまへのサービス向上、そして地域への貢献という「ハッピースpiral」を生み出すと信じています。

私たちの挑戦に、終わりはありません。